

### III 教科に関する調査結果の分析

#### 1 小学校「国語」

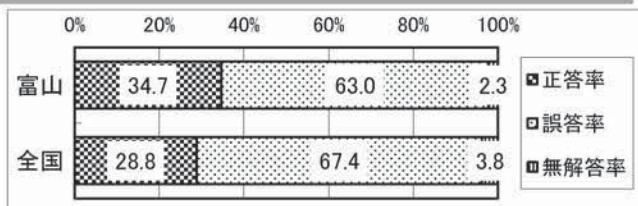
##### (1) 国語 問題番号1三 <正答率が低い問題>

学習指導要領の領域等：5・6学年 B書くことウ

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、書く能力 問題形式：記述式

**【出題の趣旨】** 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかどうかをみる。

- 正答率は34.7%で、全国平均よりも5.9ポイント高いが、国語では最も低い。
- 誤答については、〈条件〉「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)のいずれかの言葉や文しか取り上げていない解答が28.8%(全国26.6%)である。



**1** 高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、「公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている『報告する文章』です。これをよく読んで、あとどの問い合わせに答えましょう。

**【報告する文章】**

公衆電話について  
(略)

高橋 めぐみ

**2** 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか  
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみると、そこで、地元の人三十人を調査のアたいしょとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんど的人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが〈資料2〉です。

(2) けいたい電話をわされたときに必要」「けいたい電話の電池が切れたときには」「公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。  
このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(3) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか  
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。  
警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくとも通報することができる。  
停電のときでも、硬貨を使って通話をすることはできる。  
電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。  
このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができる  
ということが分かりました。(略)

**3** 調査の結果をもとに考えたこと  
また、公衆電話を使いたいときは、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとも考えました。  
なぜなら、(略)  
（条件）  
「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。  
（条件）  
「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。  
（条件）  
「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。  
（条件）  
書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

**正答例**  
(「なぜなら、」) 公しゅう電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされていたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。(68字)

**（資料2）**  
公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわされたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電池がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

#### 学習指導上の留意点

- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるようになる。調べたことを報告する文章では、調べて分かった事実が自分の考えを支える理由や事例となる。より説得力をもって自分の考えを伝えるために、調べて分かった事実の中からふさわしいものを取り上げ、自分の考えとの関係を十分に捉えて書くよう指導することが重要である。

#### 指導のポイント

- 調べたことを付箋等に書き出し、取捨選択し、整理させる。
- 書くために必要な事柄を選び、「分かったこと」と「考えたこと」をまとめさせる。
- 「調べたこと」「分かったこと」と「考えたこと」が結び付くかを確かめさせる。
- 事実と考えを区別して書くために、事実を客観的に書いたり、その事実と感想や意見との関係を十分捉えて書いたりさせる。

・参考：「4年間のまとめ【小学校編】」P. 6～P. 7 授業アイディア例 31年度 P. 3～P. 4

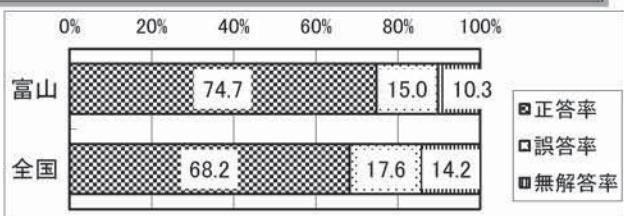
## (2) 国語 問題番号3三 <無解答率が高い問題>

学習指導要領の領域等：5・6学年 A話すこと・聞くことエ

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る。

- 正答率は74.7%で、全国平均より6.5ポイント高いが、無解答率が10.3%と高い。
- 誤答については、ふさわしい言葉遣いで書いているが、発言から言葉や文を取り上げていない解答が6.0%（全国5.6%）である。



3 岸さんは、町の広報誌に取り上げられた豊職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するため、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

【広報誌の記事】 (略)

【直接聞いてみたいこと】 (略)

【インタビューの様子】 (略)

**正答例** (特に)自分が一人前になつたと思わず、次こそはもつとよいものを作ろうと、ちよう戦し続いているところが心に残りました。(57字)

○ 「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。  
○ インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。  
○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

(条件) 合わせて書きましょう。

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビューの様子」の□イに入れる内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

○ またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。  
○ 「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。  
○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

大谷さん 岸さん 大谷さん 岸さん 大谷さん 岸さん 大谷さん 岸さん  
豊を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。  
いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざ  
にもあるどおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても  
不器用なので大変さはありました。何とか親方のようになりたいと思いました。  
そのような思いをもつていたのですね。大谷さんは、他に、どのようないや  
考えをもつて、五十年間仕事を続けてきたのですか。  
思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。  
すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えは  
ありますか。  
そうですね。五十年も職人をしていますが、いまだに完璧だと思える上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になつたと思わず、次こそはもつとよい  
ものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことです。  
お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

### 学習指導上の留意点

- 目的を明確にして情報を関係付けながら聞き、自分の考えをまとめることができるようにする  
自分の考えをまとめるために、相手からどのような情報を聞き出し、その情報をどのように活用するのかのように、インタビューの目的を明確にあって聞くことが重要である。目的に応じて、一番聞きたかったことを中心に自分の考えをまとめることができるように指導することが大切である。

### 指導のポイント

- 児童がインタビューに必然性を感じることができる話題の設定や、インタビューの成果を生かす場を設定する。
- インタビューの前に、自分の考えをもったり、自分がもっている情報と知りたい情報と整理したりする活動を設定する。
- インタビューの際には、自分がもっている情報と関係付けて、分からぬことを問い合わせたり、相手の話につなげてさらに詳しく聞くたりできるように指導する。

・参考：報告書 26年度P.48～P.57 28年度P.52～P.59 30年度P.52～P.59

授業アイディア例 30年度P.4 31年度P.7～P.8